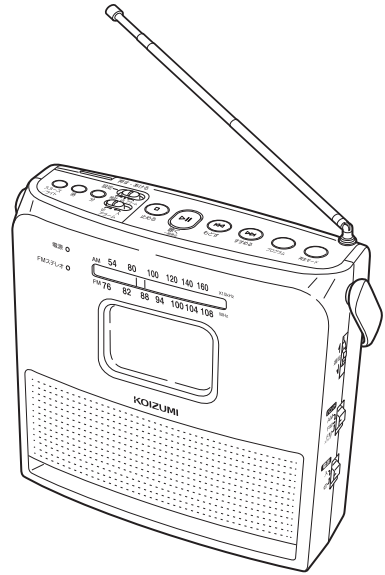


取扱説明書 (保証書別途添付)

このたびはコイズミCDラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1~3
ご使用になる前に	4
CDについて	4
ディスプレイのバックライトについて	4
結露について	4
各部のなまえ	5
電源について	6
家庭用電源で使うには	6
乾電池で使うには	6
バックアップ電池について	6
時計の合わせかた	7
アラームの使いかた	8
スヌーズ機能	8
ラジオを聴く	9
設置場所について	9

CDを聴く	10~12
ディスプレイの表示について	11
いろいろな演奏のしかた	11
プログラム演奏	11
リピート/イントロ/シャッフル演奏	12
外部音声機器を聴く	13
市販のヘッドホン/イヤホンで聴く	13
お手入れのしかた	14
本体のお手入れ	14
レンズのお手入れ	14
仕様	14
故障かな?と思われたときは	15
アフターサービスについて	16
お客様の個人情報のお取り扱いについて	19
お客様相談窓口	19

安全上のご注意

- *ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- *ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示例と絵表示の意味



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

警告



煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に金属物や燃えやすいものを入れない
事故や故障の原因となります。

ACアダプターのコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しない
火災・感電の原因となります。



風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。



ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねて使用したり、引っ張ったり、加熱したりしない

コードが破損して火災・感電の原因となります。

ACアダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにする
コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。



雷が鳴ったら、機器の金属部やACアダプターに触れない また屋外で使用しない

落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因となります。
使用しているときはすぐに機器から離れてください。



濡れた手でACアダプターを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



改造はしない 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



ACアダプターのプラグは清潔にする 刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る
火災の原因となります。

万一、本体を落としたり、破損した場合は、本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

安全上のご注意

⚠️ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

本体の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。異常に温度が高くなる場所、直射日光の当たる高温の場所（自動車内など）には置かないでください。



ACアダプターのコードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない（CD部）

レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。

指定以外の乾電池、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない

乾電池の破損・液もれにより、火災・ケガの原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する
接続は指定のコードを使用する

乾電池のプラス・マイナスは正しく入れる

乾電池の発熱・破裂、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は幼児の手の届かないところに保管する
万一飲み込んだ場合にはただちに医師とご相談ください。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。



旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ずACアダプターをコンセントから抜いておく
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。



ACアダプターを抜くときはコードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う

接続コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

長時間使用しないときは乾電池を取り出しておく

乾電池の液もれで回路がショートし、火災・ケガ・汚損の原因となることがあります。



幼児がCD挿入口に、手を入れないように注意する

ケガの原因となることがあります。



- 地震・雷・風水害などの天災、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。

ご使用になる前に

ご注意

●次のような場所では使用・保管しないでください。

- 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
 - ちりやほこりなどの多い場所。
 - 風呂場など湿気の多い場所。
 - テレビやチューナーなどのそば。
- 雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。

●温度が低い環境で操作されると、まれにCDドアの開閉動作が遅くスムーズでない場合があります。その場合は、あたたかい場所に移動し、しばらくしてから使用してください。


●キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。

●レンズにほこりがつかないように使用しないときは、CDドアを開けておいてください。またレンズにはさわらないようにしてください。

●本体の分解・改造は絶対にしないでください。

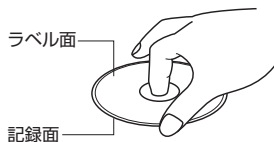
CDについて

CDの種類

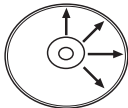
-  マークの入ったディスクをご使用ください。
- CD-R/RWの場合は、CD-DA (Compact Disc Audio) フォーマットで記憶されたディスク(ファイナライズされたもの※)を再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
※音楽用CD-R/RW再生対応機器で再生できるように処理すること。
- コピーコントロールCDやCD規格外の特形状ディスクを使用される場合、再生・音質の保証はしかねます。

CDの取り扱い

※記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



※CDに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、中心から端へと拭き取ってください。



※記録面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。またラベルがはがれたCDは使用しないでください。



ご注意

円形以外(ハート型など特形状)のディスク、ひびやそのりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

ディスプレイのバックライトについて

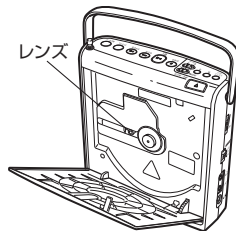
ボタン操作後、約20秒後に自動的にバックライトが消灯します。「スヌーズ/ライト」ボタンを押すことで、一時的にバックライトが点灯します。

※バックライトを点灯させるときは、電源スイッチを「入」にしてください。

結露について

周辺の温度が急激に変化した場合、レンズが結露することがあります。レンズに水滴がついた状態では正しく演奏できません。

このような場合、電源を入れ、CDドアを開けたまま約1～2時間たってから使用を開始してください。



各部のなまえ

正面

「電源」ランプ

電源を入れると点灯します。
「FMステレオ」ランプ
 FMステレオ放送受信時に点灯します。

ディスプレイ

バックライトについては、P. 4
 「ディスプレイのバックライトについて」を参照ください。

スピーカー

ハンドル

ダイヤル目盛

「選局」ダイヤル

「バンド」スイッチ
 ラジオ (AM/FM/FMステレオ)

「電源」スイッチ
 (入/切)

側面

背面

ロッドアンテナ

「押し-しめる」マーク

CDドア

「音量」ダイヤル

「ファンクション」スイッチ
 (CD/ラジオ/LINE IN)

ヘッドホンジャック

「LINE IN」ジャック
 (外部入力端子)

「DC IN」ジャック
 付属のACアダプターを
 つなぎます (P.6参照)

操作部

「押し-あける」ボタン

「設定」スイッチ
 (時計/切/アラーム)

「スヌーズ/ライト」ボタン

「時」ボタン

「分」ボタン

「アラーム」スイッチ
 (入/切)

「止める (■)」ボタン

「聴く/一時停止 (▶||)」ボタン

「もどす (◀◀)」ボタン

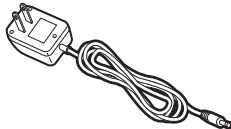
「すすめる (▶▶)」ボタン

「再生モード」ボタン

「プログラム」ボタン

付属品 ※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。

● ACアダプター (型番: SAD-9019)



● 取扱説明書 (本書)



● 保証書



電源について

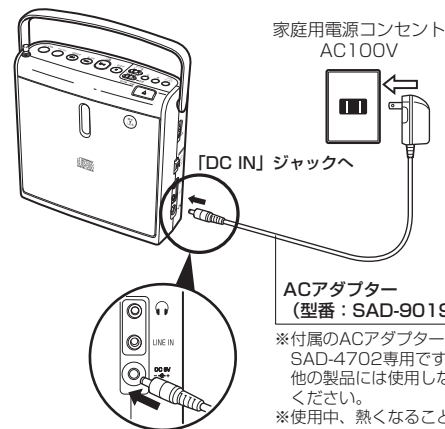
家庭用電源で使うには

1. ACアダプターのプラグを本体の「DC IN」ジャックへ差し込む。
2. ACアダプターをコンセントへ差し込む。

ご注意

- ACアダプターを抜くときは、コードを持たずに必ずACアダプターを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。
- ACアダプターのコードの上に重いものをのせないでください。コードに傷がついて、火災や感電の原因となります。
- ACアダプターのプラグを本体に差し込むときは、操作部分に触らないでください。電源を入れた後、操作ボタンが正しく動作しないことがあります。

(本体背面)



家庭用電源コンセント
AC100V

「DC IN」ジャックへ

ACアダプター
(型番: SAD-9019)

※付属のACアダプターは、SAD-4702専用です。他の製品には使用しないでください。
※使用中、熱くなることがありますが異常ではありません。

乾電池で使うには

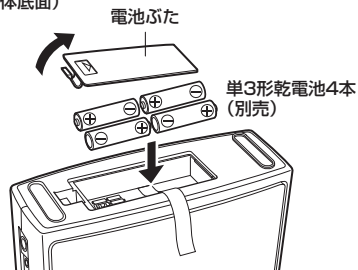
※乾電池で使用するときは、ACアダプターのプラグを本体のDC INジャックから抜いてください。ACアダプターが差し込まれていると乾電池で使用できません。

1. 電池ぶたを開ける。
2. 単3形アルカリ乾電池4本(別売)を右図のように入れ、電池ぶたを閉める。

ご注意

- 乾電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。
- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。長期間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
 - 使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。
 - 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
 - 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

(本体底面)



乾電池の交換目安

乾電池が消耗してくると、CDが正常に動作しない、音が小さくなる、雑音が多くなるなどの現象が生じます。新しい乾電池と交換してください。

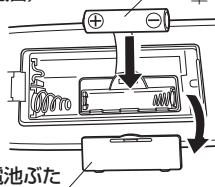
バックアップ用電池について

■停電時や乾電池切れの時に、「設定」ボタンで設定した時計機能等を一時的に記憶しておくための電池です。

※単4形アルカリ乾電池1本(別売)を極性(+、-)を間違えないように入れてください。

(本体底面)

バックアップ用電池
単4形乾電池×1



ご注意

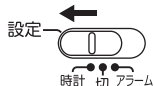
- 本機はバックアップ用電池を入れなくても動作しますが、停電時やACアダプターを抜くと時計機能などを維持しません。
- 乾電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。
 - 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。長期間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
 - 使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。
 - ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
 - 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

バックアップ用電池の交換目安

ACアダプター使用有無にかかわらず約1年です。

時計の合わせかた

1. 「設定」スイッチを[時計]にする。



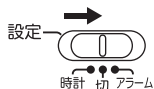
2. 「時」ボタンを押し、[時]を設定する。

- はやく進めるには長押しします。
- 時計は12時間表示です。

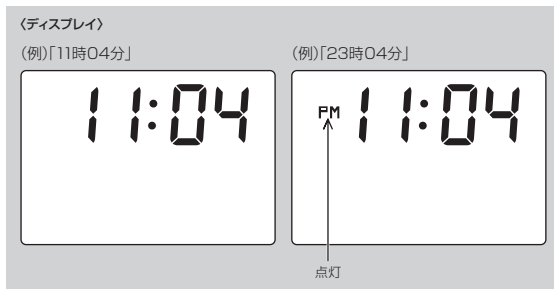
3. 「分」ボタンを押し、[分]を設定する。

- はやく進めるには長押しします。

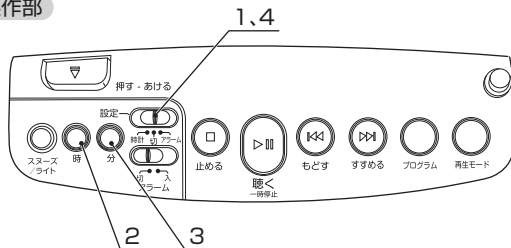
4. 「設定」スイッチを[切]に戻し、設定を保存する。



※時計機能を保持するためには、バックアップ用電池を入れてください。(P. 6参照)


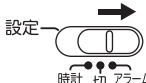
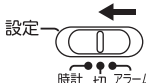


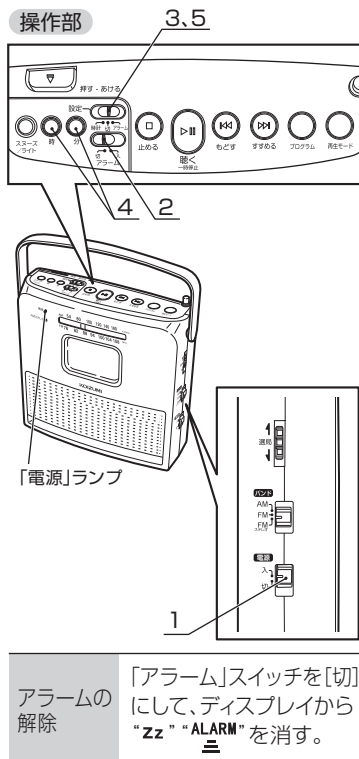
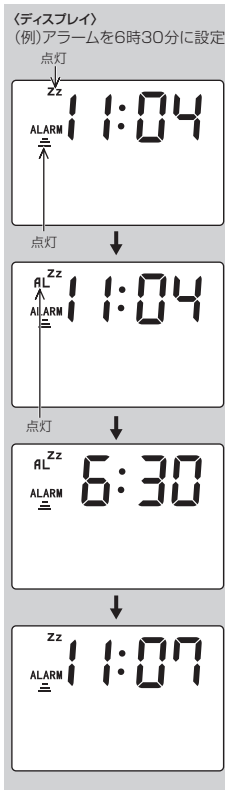
操作部



アラームの使いかた

■設定した時刻にアラームを鳴らすことができます。 ※あらかじめ時計を合わせておいてください。(P. 7参照)

1. 「アラーム」スイッチを[入]にする。
 - ディスプレイに“zz” “ALARM”が表示されます。
2. 「設定」スイッチを[アラーム]にする。
 - ディスプレイに“AL”が表示されます。
3. 「時」ボタンを押して[時]を、「分」ボタンを押して[分]を設定する。
 - はやく進めるには長押しします。
4. 「設定」スイッチを[切]に戻し、設定を保存する。
 - “AL”が消灯し、時計が表示されます。



- アラームの音量は設定できません。
- アラームが鳴り続けて約1分経過すると、自動的に翌日の同時刻まで停止します。

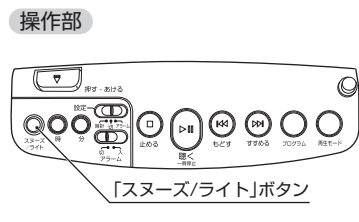
スヌーズ機能

■鳴っているアラームを一時的に停止させることができます。

アラームが鳴っているとき

「スヌーズ/ライト」ボタンを押す。

- 約8分間停止後、再び鳴り始めます。

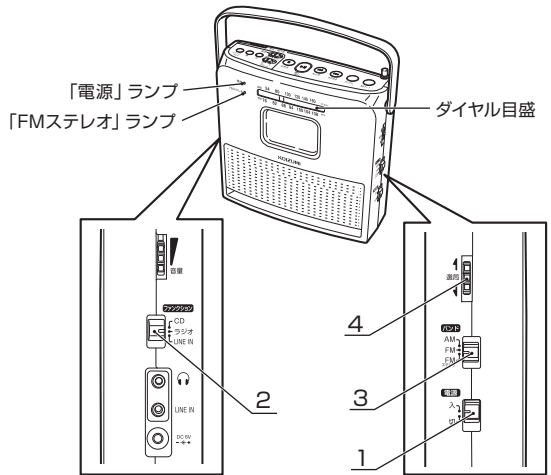


スヌーズ機能を解除する

「アラーム」スイッチを[切]にして、ディスプレイから“zz” “ALARM”を消す。

ラジオを聴く

1. 「電源」スイッチを[入]にする。
 - 「電源」ランプが点灯します。
2. 「ファンクション」スイッチを[ラジオ]にする。
3. 「バンド」スイッチで[AM] [FM] [FMステレオ]のいずれかを選ぶ。
 - FMステレオ受信時は、「FMステレオ」ランプが点灯します。
4. 「選局」ダイヤルで聴きたい局を選ぶ。
 - ダイヤル目盛を目安に選局してください。

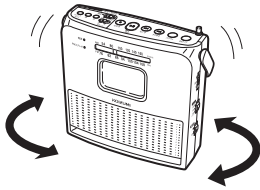


設置場所について

ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてご使用ください。

AM放送の場合

本体を動かし、もっとも良く聴こえるところに設置してください。
(アンテナは本体内蔵)



FM放送の場合

アンテナを伸ばし、最も良く聴こえる方向に向けてください。



FMステレオ放送で
雑音が多い場合

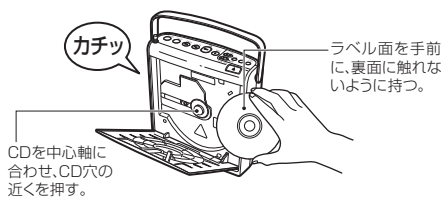
「バンド」スイッチで[FM]に切り換える。
(ステレオになりませんが、聴こえやすくなる)
ことがあります。

ラジオを切る

「電源」スイッチを[切]にする。

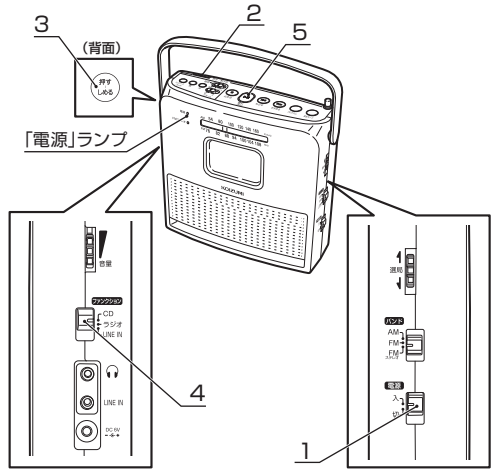
CDを聴く

1. 「電源」スイッチを[入]にする。
 - 「電源」ランプが点灯します。
2. 「押す-あける」ボタンを押してCDドアを開け、CDをセットする。
3. 「押す-しめる」マークを押してCDドアを閉める。
 - CDドアを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
 - ※CD-R/RWに記録されたCD、コピーガード付きのCDは再生できない場合があります。



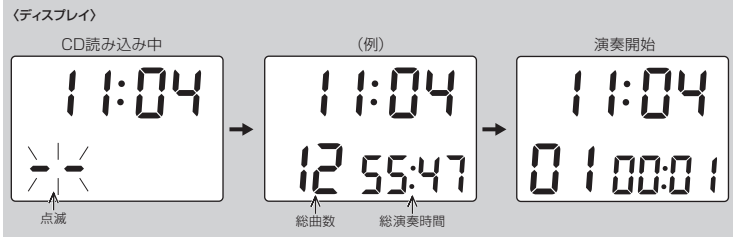
ご注意

- CDドア内部にCDレンズ保護シートがはめられています。ご使用前に保護シートを取り外してください。
- 演奏中・一時停止中、またはCDをセットしてCDドアを閉じた直後に「押す-あける」ボタンを押さないでください。CDに傷がつく恐れがあります。



4. 「ファンクション」スイッチを[CD]にする。
5. 「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押す。

- ディスプレイに総曲数と総演奏時間が表示された後、1曲目から演奏が始まります。
- 全曲演奏が終わると、自動停止します。



音量を調節する	音量ダイヤルを回す。	早送り・早戻しする	演奏中/一時停止中に 「すすめる(▶▶)」ボタンまたは「もどす(◀◀)」ボタンを押し続ける。 • ボタンから指を離すと演奏に戻る。
演奏を止める	「止める(■)」ボタンを押す。	曲の頭を探す(スキップ)	演奏中/一時停止中に 「すすめる(▶▶)」ボタンまたは「もどす(◀◀)」ボタンを押す。
一時停止をする	「聴く/一時停止(▶)」ボタンを押す。 • 演奏に戻るにはもう一度押す。		停止中 「すすめる(▶▶)」ボタンまたは「もどす(◀◀)」ボタンで聴きたい曲を選んだ後、「聴く/一時停止(▶)」ボタンを押す。

CDを聴く

ディスプレイの表示について

ディスプレイに「015」が表示されたり、「Er」が繰り返し表示される場合、以下の項目を確認してください。

- CDが正しくセットされていますか？
- CDの裏表を間違えていませんか？
- レンズが汚れていませんか？(P. 14参照)
- CDが汚れたり、傷ついていますか？
- 使用できないCDを挿入していませんか？(P. 4参照)

※正常に作動しているときは、CDディスプレイに数字で曲数(99曲まで)が表示されます。

ご注意

- 本機は、CD-R/RW録音機器で作成した音楽用CD-R/RWディスクの再生も可能です。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- コピーガード付きのCDは再生できない場合があります。
- 直接音楽ファイルを記録したCD(MP3ディスクやWMAディスク等)は再生できません。

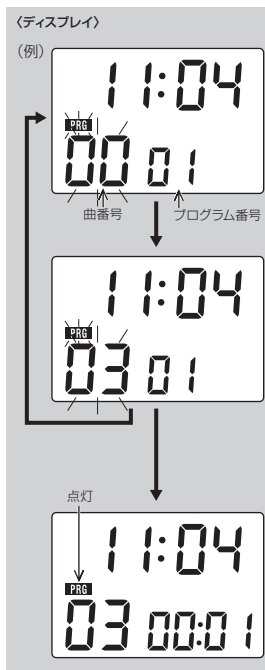
いろいろな演奏のしかた

プログラム演奏 (お好みの曲を予約順に聴く)

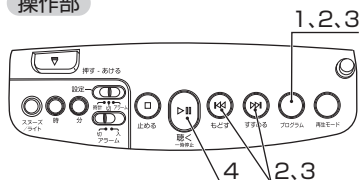
停止中に

1. 「プログラム」ボタンを押す。
 - 曲番号と「PRG」が点滅表示します。
2. 「すすめる(▶▶)」ボタンまたは「もどす(◀◀)」ボタンでお好みの曲を選び、「プログラム」ボタンを押して登録する。
3. 上記2の操作を繰り返し予約していく。
 - 最大20曲までお好みの曲を予約順に聴くことができます。
4. 「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押す。
 - プログラム演奏が始まります。
 - プログラム演奏中は「PRG」が点灯します。

※プログラム演奏終了後、プログラムは解除されます。



操作部



連続で同じプログラムを演奏する

プログラム演奏中に

リピート演奏の全曲繰り返し(ALL)に設定する。(P. 12参照)

プログラム演奏を解除する

CDドアを開ける。

プログラム演奏中に「止める(■)」ボタンを押す。

リピート/イントロ/シャッフル演奏

演奏中/一時停止中/停止中に

「再生モード」ボタンを押す。

- 「再生モード」ボタンを押すごとに設定が変わります。
- 1曲繰り返し …… お好みの1曲を繰り返し演奏します。



- 全曲繰り返し …… 全曲を繰り返し演奏します。

ALL

- イントロ演奏 …… 曲の始めの10秒間のみ演奏します。

INTRO

<演奏中に設定した場合>
演奏中の曲が終了後、イントロ演奏がスタートします。

- シャッフル演奏 …… 全曲を無作為に繰り返し演奏します。
(CDランダム)

SHUFF

<演奏中に設定した場合>
演奏中の曲が終了後、シャッフル演奏がスタートします。

操作部

「再生モード」ボタン



(ディスプレイ)

1曲繰り返し

全曲繰り返し

イントロ演奏

シャッフル演奏
(CDランダム)



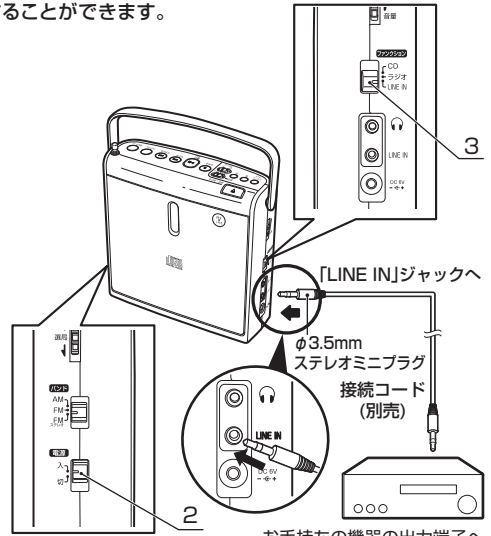
通常演奏



外部音声機器を聴く

■外部の音声機器をつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

1. 本体側面の「LINE IN」ジャックと外部音声機器の音声出力端子を接続コード(別売)でつなぐ。
2. 「電源」スイッチを[入]にする。
 - 「電源」ランプが点灯します。
3. 「ファンクション」スイッチを[LINE IN]にする。
4. 外部に接続した音声機器を再生する。



お手持ちの機器の出力端子へ
 ●お手持ちの機器の出力端子にあったプラグ形状の接続コードを使用してください。

音量に過不足を感じる時

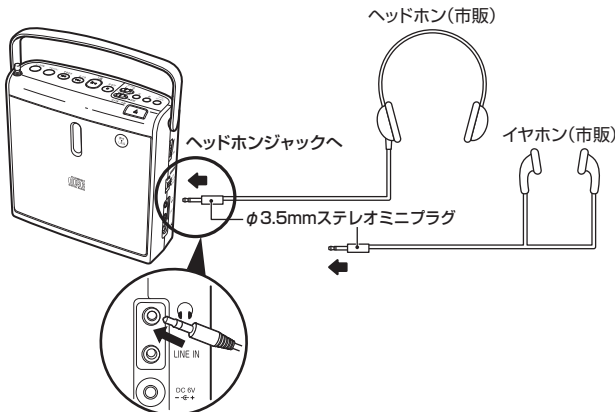
本機と外部に接続した音声機器の両方の音量を調節する。
 ※外部に接続した音声機器の出力が小さく、音がうまく聴こえない場合があります。

ご注意

外部の音声機器を聴くとき以外は、接続コードを本体から取り外してください。
 CDやラジオ等を聴く場合、接続コードが本体に差し込まれたままになっていると、スピーカーから音が出ません。

市販のヘッドホン/イヤホンで聴く

■市販のヘッドホン/イヤホンをお機につないで、演奏を聴くことができます。



ご注意

- ヘッドホン/イヤホンをお機につなぐときは、本機の音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

お手入れのしかた

※必ず「電源」スイッチを[切]にしてACアダプターをコンセントから抜いてから行ってください。

本体のお手入れ

乾いた布などで拭いてください。

汚れがひどいとき

中性洗剤をうすめて布にふくませ、よく絞ってから汚れを拭きとってください。その後、から拭きしてください。



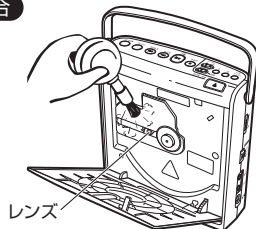
ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。本体を傷める原因となります。

レンズのお手入れ

ごみやほこりがついた場合

レンズを市販のプロアーで2~3回吹き、プロアー先端のブラシでごみやほこりをはき出します。最後にもう一度レンズをプロアーで吹いてください。




ご注意

レンズには指紋や汚れをつけないようにしてください。

仕様

受信周波数	FM:76~108MHz AM:522~1629kHz	電源	2電源方式 ●AC100V 50/60Hz(付属ACアダプター使用時) ●DC6V 単3乾電池×4本(別売)
アンテナ	FM:ロッドアンテナ AM:フェライトバーアンテナ内蔵	電池持続時間 (アルカリ乾電池使用時)	ラジオ受信時(JEITA):約48時間 CD再生時(JEITA):約7.5時間
スピーカー	5.6cm(8Ω)×2個	消費電力	8W
入力端子	LINE IN 端子×1	最大外形寸法	約165(幅)×75(奥行)×165(高さ)mm
出力端子	ヘッドホン端子×1	質量	約670g(乾電池含まず)
実用最大出力	0.6W+0.6W(JEITA)	付属品	ACアダプター(型番:SAD-9019)、 取扱説明書(本書)、保証書

●ACアダプター(型番:SAD-9019)

入力	AC100V 50/60Hz 150mA	コード長	約1.8m
出力	DC6V 800mA	プラグ形状	φ3.5mm -  +

※本機の仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思われたときは

症状	チェックポイント	処置のしかた	
電源が入らない。	乾電池は正しい方向で入っていますか？	乾電池の + - を確かめてください。	
	ACアダプターがはずれていませんか？	正しく接続してください。	
CDの演奏が始まらない。	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。	
	CDの表裏を間違えていませんか？	ラベル面を上にしてください。	
	レンズが汚れていませんか？	お手入れのしかたを参考にレンズのお手入れをしてください。(P. 14参照)	
	レンズに霧や水滴がついていませんか？	CDを取り出してCDドアを開け、1時間程置いてください。	
	CDが入っているのに「E-r」または「E-r」と表示する。	CDが汚れていませんか？	汚れを落としてください。
		ファイナライズ処理(通常のCDプレイヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。	
CDの音が飛ぶ。	CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。	ディスクを替えて試してください。	
	強い振動を与えていませんか？	振動を与えないでください。	
	CDがひどく汚れていませんか？	汚れを落としてください。	
	CDに大きな傷はありませんか？	CDを替えて試してください。	
	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。	
ラジオに雑音が入る。	電波の届きやすいところに置いていますか？	設置場所を確認してください。(P. 9参照)	
	テレビと同時に使用していませんか？	テレビから離してください。またはテレビの電源を切ってください。	

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき


- 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- CDラジオの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用の音響機器の点検を！	
	ご使用の際このようなことはありませんか	<ul style="list-style-type: none">● ACアダプターのコードやACアダプターが異常に熱い。● ACアダプターのコードに深いキズや変形がある。● コゲくさい臭いがする。● その他の異常、故障がある	ご使用中止 このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけません

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけません

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL. 048 (718) 3340 FAX. 048 (718) 3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけません

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3145 FAX. 06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけません

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3211 FAX. 06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2016年9月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)